

ONAHOBANKI


オナホバンキ



R-18
ADULT ONLY



そんな妖怪が…
寝てる間に泥棒に
入られたなど



クワッ クワッ…

妖怪は人間に
恐れられねば
ならない



それどころか…
首から下を
盗み出されたなど

おい…

冗談だと
言ってくれ…

一体誰にか
話せようか





な...何人
いるんだ!?



ひっ...
刃物!?



見るなっ
見るなあ...っ



くう...っ



ひやあつ...!?

ビクッ



ついで
っ...っ...っ...



あ...
文字か

...「あ」?

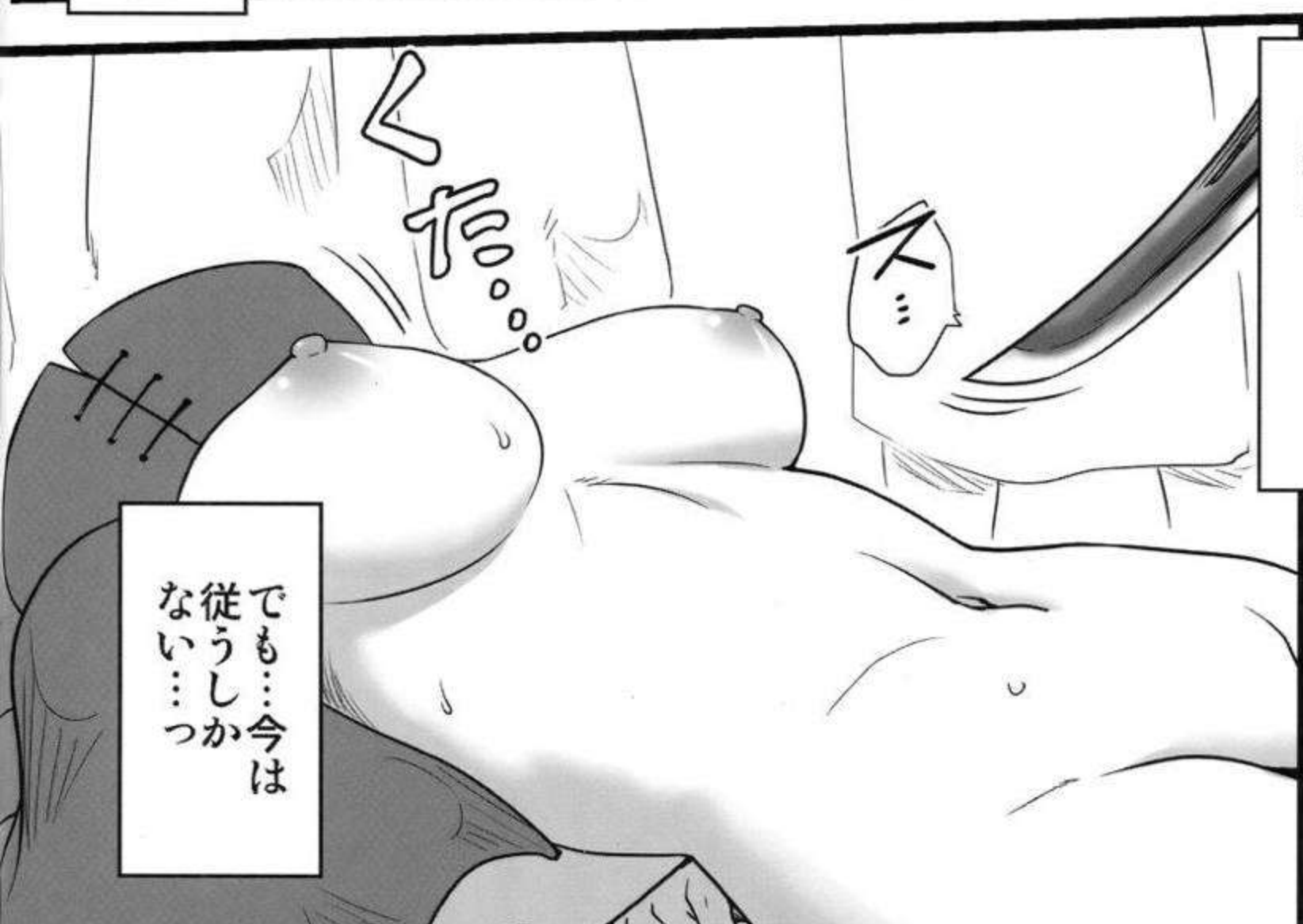


「あ・ば・れ
る・な」

「こ・ろ・す・ぞ」



...くそっ
(恐らく)人間なんか
この私が...



でも...今は
従うしか
ない...

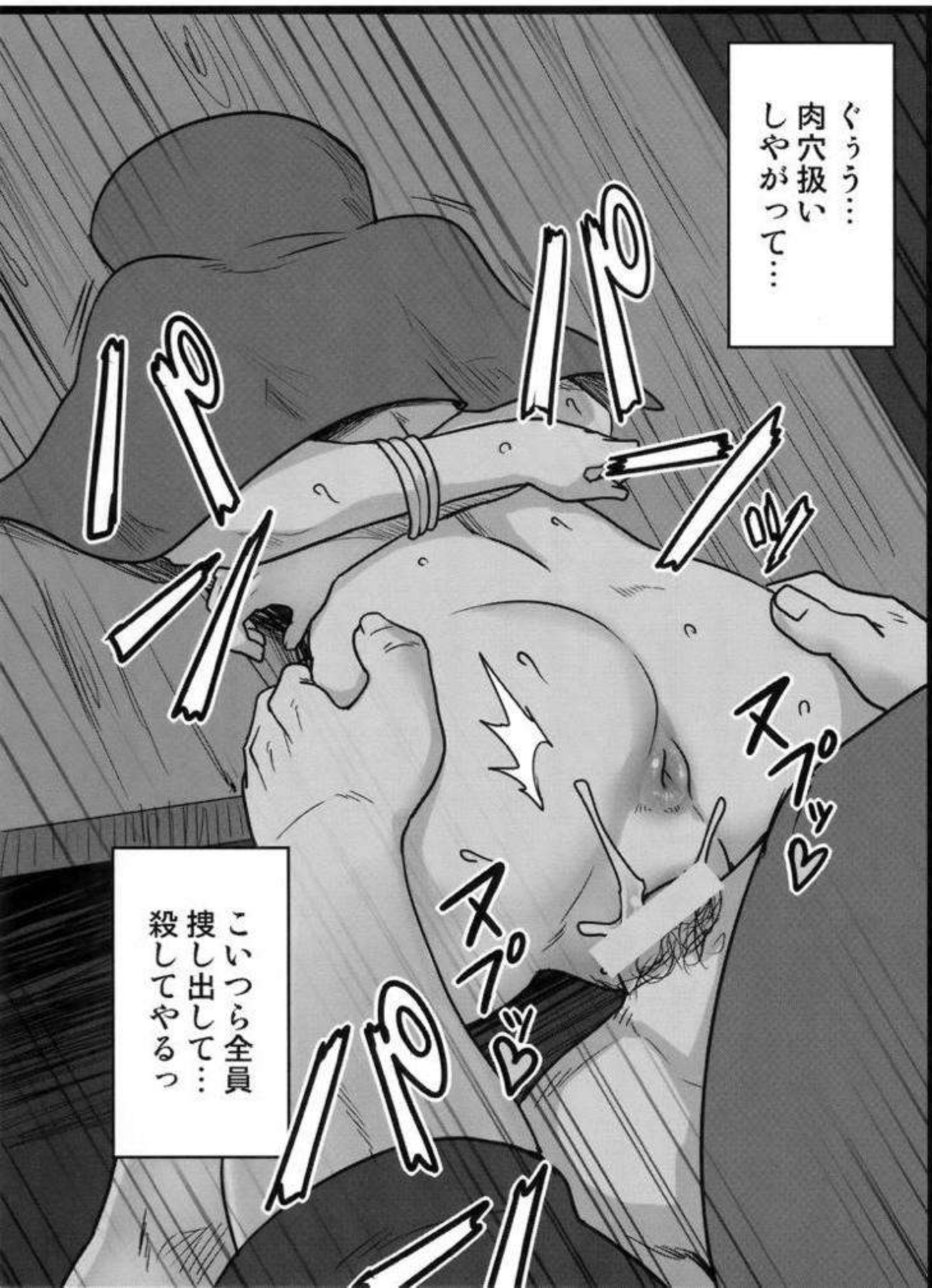
くた...た...

ッ...



に...人間なんか
一方的に
イカされるなんて...

うう...くそ...
屈辱だっ...



ぐうう...
肉穴扱い...
しやがって...

こいつら全員
捜し出して...
殺してやるっ

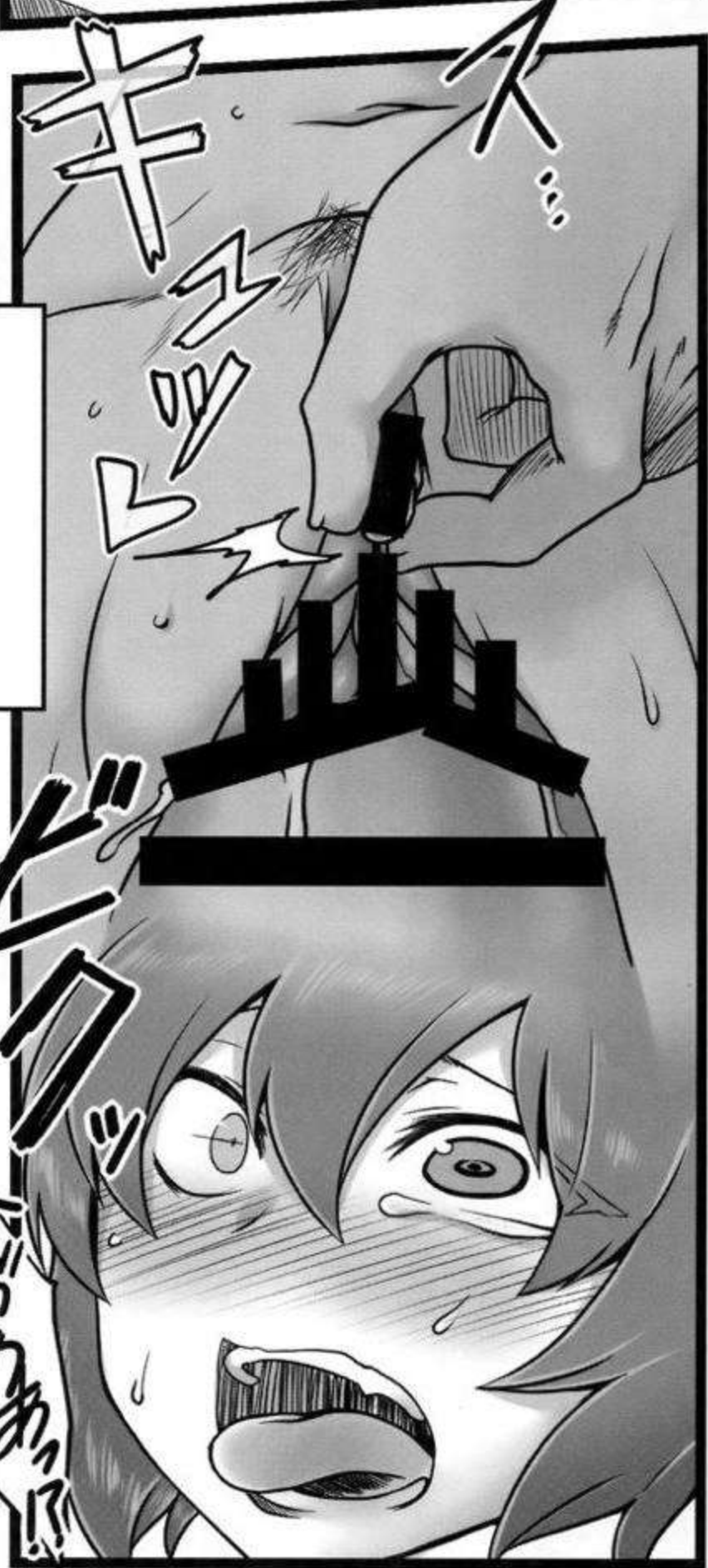




終われ終われ
早く終われえっ...



ま...
待ちなさいよ
そこ...はっ





結局 私の体は
この日の晩まで
使われ続けた

あいつらは
夜に泥棒に
出掛けるようだ



だが



私は今しか
ないと思いい
体を捜し始めた

体ができることは
わずかな手掛かりを
発することだけだった





見つかってしまいました
棒か何かでひたすら
肛門を責められた

泣けど叫べど
小便を漏らせど
いっさい容赦なく
ほじくり回された



私はいよいよ
手掛かりなしで
体を捜さなくては
ならなくなつた...



やっと許されたのは
もう空も白むころで
私の肛門はすっかり
拡がりきつていた



子宮が満杯になると
腹を踏みつけられて
精液をひり出させられる

ただの肉袋として
扱われる極限の屈辱が
私を変え始めていた



私の肛門に
異常に執着する
男もいた

私を犯すでもなく
肛門をひたすら
いじり続けてくる



最も恥ずかしい器官を
人間の思うがままに
ほじり回されている



これは…これは
現実なのか？



あつ…あ
ケツ穴
拡がるう…♡

あつ♡あつ♡人間に
尻の穴の中まで
覗かれてしまった♡



なんて…なんて
恥ずかしい妖怪なんだ
私は…♡

あつ♡
イクツ♡



人間にケツ穴
拡げられながら
イクツ…♡

その晩はずっと
変な薬を塗られて
放置された



ああっ♡畜生♡
はやく…はやく
戻ってこいっ

戻ってきた奴らは
すぐには私を
使おうとしなかった



くそっ…
くそお…

何だよ…
使うならさっさと
やれっつ…っ

どうしてだ!?
溜まっているんだろ
いっぱい…っ





も...もう
どうでもいいっ♡
笑われてもいいっ♡

はやく...はやく
この穴にチ○ポを
突っ込んでくれえ♡





あ…頭が
戻って
るっ!?

ギ
ク
ツ

げえっ!?

へへっ…今日は
何を試して…

長
い
…



待ちわびたぞ
人間…

さあ!早く
私の穴を
ほじれ!

ま…待て
お前も楽しんで
いただらう?

い…命
ばかりは…

今日からは
焦らすなんて
許さないぞ?

END

あとがき

ここまでお読みいただきありがとうございます。

妖怪と人間が肌と肌の触れあいを通じて仲良くなる
ハートフルストーリー、お楽しみいただけたでしょうか。

昨年の天子本以来の分断もの(?)なので
タイトルも継承しました。
やっぱり体だけ好き放題使われるのは…いいな。

蛮奇ちゃん(赤蛮奇で一語だけどこの呼び方)、
種族や能力が相まって特殊エロよく見かける
…というかその辺抜きにしてもなぜか
性癖濃い目に描かれがちのような。
大変いいぞもっとやってくれ。

ではでは、また次の本で。

酉寅



発行:寅乃檻
発行者:酉寅

tritra1024@gmail.com

PixivID 321498

Twitter _tritra

印刷:ねこのしっぽ 様

発行日:2016/10/16

Scans by Super Shanko

寅乃檻